【009】　米国の政治に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

A：連邦議会は、任期に定めのない上院議員と、各州2名の下院議員で構成されており、条約の締結や予算の承認といった事項は下院の専権事項である。
B：大統領は間接選挙によって、4年間の任期で選ばれる。国民は大統領選挙人を選び、その選挙人によって大統領が選ばれる。
C：大統領は法案提出権を持つとともに、議会が可決した法案への拒否権を持つ。また、議会で不信任決議が可決された際には議会を解散することができる。
D：司法権の独立性が強く保たれており、連邦最高裁判所に違憲立法(法令)審査権が与えられている。

1　A、B
2　A、C
3　A、D
4　B、D
5　C、D

【010】　アメリカの大統領制に関する次の記述ア～オのうち妥当なものの組合せはどれか。

ア：大統領の任期は4年であり、再選は禁止されている。
イ：大統領は、議会の議席を持っていない。
ウ：大統領は、議会が可決した法律案に対しての拒否権を持っている。
エ：大統領は、議会の解散権を持っている。
オ：大統領の地位は議会の信任が必要であり、議会に対しての責任を持たなければならない。

1　ア、ウ
2　ア、エ
3　イ、ウ
4　イ、オ
5　エ、オ

【011】　日本とアメリカの政治機構に関する次のA～Cの記述の正誤の組合せとして、正しいのはどれか。

A：日本の内閣総理大臣は内閣を代表して国会に法案を提出できるが、アメリカ大統領は連邦議会に法案を提出できない。
B：日本の参議院が内閣不信任決議案を可決した場合、10日以内に参議院が解散されない限り、内閣は総辞職しなければならないが、アメリカの上院は大統領不信任決議を可決し、大統領を罷免することはできない。
C：日本のすべての裁判所は違憲立法審査権をもっているが、アメリカで違憲立法審査権をもっているのは、憲法裁判所のみである。

	A	B	C
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

©Civilセミナー ZEN《問題野郎》

【009】 **4** B、D

A：上院議員の任期は6年で各州2名ずつ。条約の締結は大統領。
C：法案提出権はない、解散権もない。

【010】 **3** イ、ウ

ア：三選禁止
エ：解散権はない
オ：そんなことない

【011】 **3**

B：参議院ではなく衆議院
C：憲法裁判所ではなく連邦裁判所

©Civilセミナー ZEN《問題野郎》